

寄贈図書リスト

地球外生命は存在する！～宇宙と生命誕生の謎～，懸
秀彦，幻冬舎，新書版，235ページ，800円＋税

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお，原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく，以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など），2. (1) 所属部門・所属講座，(2) 勤務地，3. 専門分野，4. 職務内容・担当科目，5. (1) 着任時期，(2) 任期，6. 応募資格，7. 提出書類，8. 応募締切・受付期間，9. (1) 提出先，(2) 問合せ先，10. 応募上の注意，11. その他（待遇など）

国立天文台年俸制職員 (TMT 推進室特任助教)

1. 特任助教1名
2. (1) TMT推進室
(2) 東京都三鷹市（米国カリフォルニア州パサデナ等への長期出張あり）
3. 天文学・物理学・関連する工学分野
4. 国立天文台は，すばる望遠鏡により世界の第一線に立った日本の光赤外線天文学研究をさらに発展させるため，国際共同科学事業としてハワイ島マウナケア山頂に口径30 mの超大型望遠鏡TMTを建設するプロジェクトを推進している。TMTの実現により，日本の研究者がすばる望遠鏡のユニークな広視野探査観測機能などと連携した研究を展開し，世界的な成果を上げることを期している。

TMTにおける日本の重要な貢献の一つとして，第一期観測装置IRISの撮像系の製作がある。国立天文台では先端技術センターを中心として第一期観測装置の一つである近赤外線撮像分光装置（IRIS）の撮像系の開発を行っている。IRISは補償光学と組み合わせることで近赤外線の波長域において回折限界の撮像観測と面分光観測を可能に

する。TMTの大口径と補償光学による高感度の観測を実現するため，IRISは冷却下において非常に低い波面誤差の光学性能が要求される。また，撮像系は補償光学系から光を受け取り，面分光系に受け渡す役割も担っているため，補償光学系を担当するカナダのグループおよび面分光系を担当するアメリカのグループとのインターフェースに関する議論が必要になる。2017年2月現在，IRISは基本設計段階にあり，2017年後半に基本設計レビューを実施し，詳細設計段階へと移行していく予定である。本特任助教はIRIS撮像系の光学系のリーダーとして，詳細設計段階およびその後の製作，組上げ，性能評価段階において(1) 鏡面の研磨誤差，アライメント誤差，冷却による誤差等の誤差要因の現実的な見積もり，(2) アライメント，組上げ，性能評価の詳細なプラン作成，(3) プロトタイプによる実証，(4) プランの着実な実行とプランからの差異への適切な対処，などの重要なタスクについて，外部業者および先端技術センターの職員との共同作業を先導しつつ，主体性をもって担当していただく。

本特任助教には，天文観測装置の研究開発およびそれを支える技術，特に光学，オプトメカに関する知識，経験を有することに加え，国際的なIRIS共同開発チームとTMT関係者との英語によるコミュニケーション能力と英語文書作成のスキルが求められる。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5年
6. 大学院博士課程修了，またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（写真貼付）
(2) 論文リスト
(3) 主要論文3編のPDFファイル
(4) 研究歴（望遠鏡・観測装置・実験機器等の開

発の実績、国際協力での開発の経験を含む)

- (5) 今後の職務に関する計画書
- (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 2017年7月31日(月) 17時必着(日本時間)
9. (1) apply-tmt-sassis20170731@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台TMT推進室長 白田知史
Tel: 0422-34-3522
e-mail: usuda@naoj.org
10.
 - ・すべての応募書類(上記7.(1)~(5))はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。
 - ・PDFファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール1通につき最大10MB程度まで)。
 - ・応募書類が受理されると祝祭日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-tmt-sassis20170731@nao.ac.jpへお問い合わせください。
 - ・応募書類の郵送または持参はご遠慮いただいております。
 - ・応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用いたしません。
11.
 - ・給与待遇は年俸制となります(年額の12分の1を月額支給)。
 - ・選考は国立天文台運営会議で行います。
 - ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokuyodo/>をご覧ください。

国立天文台研究教育職員

(チリ観測所准教授)

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所
(2) 当面は東京都三鷹市、将来的にはチリ・サントシアゴ勤務もありえます
3. 電波天文学
4. 今回の公募では、電波天文観測に関する深い見識に基づき、東アジアALMA支援センターの将来開発マネージャーとして、プロジェクトマネージャーや先端技術センター長を支え、以下の業務

を主導できる准教授を求めます。

- ・ALMAの科学性能の維持と向上のための開発プランの策定
 - ・東アジアにおけるALMAの開発・機能向上の主導と、合同ALMA観測所(JAO)および北アメリカ・ヨーロッパの将来開発マネージャー等との連携による開発プログラムの調整
 - ・サイエンスチームとの緊密な連携による科学的に重要かつ技術的実現性の高い拡張計画の主導
- 加えて、エンジニアリングマネージャーとしての以下の業務も担当していただきます。
- ・ALMAの科学性能の維持のための保守プランの策定
 - ・JAOおよび北アメリカ・ヨーロッパのエンジニアリングマネージャー等との連携を通じた、東アジアからのALMAへの納品物(ACAアンテナ、バンド4/8/10受信機冷却カートリッジ、ACA関連器等)の保守作業の主導
 - ・東アジアからのALMAへの納品物(ACAアンテナ等)の安全、品質保証、輸出入、資産・文書管理に関するJAOとの調整
- これらの職務と並行して、ALMAを用いた自身の科学研究を推進するとともに、若手研究スタッフへの研究上の助言もしていただきます。その結果として、国際計画であるALMAの中での日本のプレゼンスを上げることに貢献していただきます。将来的には合同ALMA観測所(JAO)においてマネージメント的な職種に就くことも期待します。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし(定年65歳)。
 6. 関連分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等とみなせる方。また、職務の必要上、Face-to-face会議やビデオ会議、電話会議等での科学的・技術的議論ができる英語力を必須とします。
 7. 以下の書類(英文)をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください。(1) カバーレター、(2) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほか、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は本人の果たした業績を具体的に記入してください)、(3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し、共著の場合は本人の役割分担を記すこと)、(4) 主要論文3編のpdfコピー、(5) 職務に対する抱負と計画、(6) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(e-mailアドレス、電話番号)、(7) reference letter 2通以上(応募者からの書類に含めず、letterを依頼した方から直接9.(1)の提出先に応募締切までに届く

よう依頼してください。

8. 2017年8月31日(木) 17時(日本時間) 必着

9. (1) e-mail (応募専用):
 apply-alma-assocprof20170831@nao.ac.jp
 メール の 件名欄 に “Application for associate professor of NAOJ Chile Observatory” と明記してください。

(2) 国立天文台チリ観測所長 阪本成一
 e-mail: sakamoto.seiichi@nao.ac.jp
 メール の 件名欄 に “Question on associate professor of NAOJ Chile Observatory” と明記してください。

10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)~(7))はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること。

・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール1通最大10MB程度まで)。

・郵送や直接持参による応募は受け付けません。

・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません。

・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-alma-assocprof20170831@nao.ac.jpへお問い合わせください。

11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyoedo/>をご覧ください。

国立天文台研究教育職員 (太陽観測科学プロジェクト准教授)

1. 准教授1名
2. (1) 太陽観測科学プロジェクト
(2) 東京都三鷹市
3. 太陽物理学
4. 国立天文台の太陽研究分野では、飛翔体や地上観測装置を用いた観測的研究、および理論的研究を進めています。太陽観測科学プロジェクトは、地上観測およびひので衛星などの地上および宇宙からの太陽観測を推進しています。気球・ロケット実験等を推進するだけでなく、次期太陽観測衛星計画の従来からの大幅な見直しを含めた検討、および搭載候補装置の開発実験等を広範な国際協力の下にリードできる准教授を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし(定年65歳)
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等な方
7. (1) カバーレター
(2) 履歴書
(3) 研究歴
(4) 論文リスト(査読論文とその他を区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと)
(5) 主要論文のコピー(3編まで)
(6) 今後の職務に関する計画書
(7) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
(8) 評価書(ある場合のみ, ただし評価書は評価者から直接応募受付e-mailアドレスへ締切までに提出するよう依頼すること。)

8. 2017年8月31日(木) 17時(日本時間) 必着

9. (1) 応募書類はapply-solar-assocprof20170831@nao.ac.jpへメール添付で送付。メール件名は「太陽観測科学プロジェクト准教授応募」としてください。

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台
 太陽観測科学プロジェクト長 渡邊鉄哉
 Tel: 0422-34-3714
 e-mail: watanabe@solar.mtk.nao.ac.jp

10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)~(8))はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること

・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール1通につき最大10MB程度まで)。

・郵送や直接持参による応募は受け付けません。

・応募書類が受理されると、祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-solar-assocprof20170831@nao.ac.jpへお問い合わせください。

11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyoedo/>をご覧ください。

京都大学大学院理学研究科 附属天文台助教

1. 助教1名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科附属天文台

(2) 京都市左京区または岡山県浅口市

3. 光・赤外線天文学
4. 3.8 m 新技術光学赤外線望遠鏡の運用と装置開発, および関連する観測的研究を積極的に推進し, それを通して大学院生, 学部生の教育を行う。
5. (1) 決定後, なるべく早い時期
(2) なし
6. 博士の学位を有する方
7. (1) 略歴書, (2) 研究成果説明書 (これまでの研究成果の概要を説明したものに, 研究論文リストと主要論文別刷3部を添付すること), (3) 研究計画書 (A4で3頁程度), (4) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 2017年8月21日(月) 必着
9. 提出先・問合せ先
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科附属天文台・京都分室
台長 柴田一成
Tel: 075-753-3893 Fax: 075-753-4280
e-mail: shibata@kwasan.kyoto-u.ac.jp
附属天文台 <http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp>
10. 封筒の表に「応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留でお送りください。
11. 書類選考の後, 場合によって面接を行うことがあります。
京都大学は男女共同参画を推進しています。
多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。
(注) 学系は平成27年度に発足した京都大学の教員人事を扱う教員組織であり, 今回の助教人事は物理・宇宙物理学系で行われます。しかし, 教育・研究上はこれまで同様に物理学・宇宙物理学専攻に所属します。

法政大学理工学部創生科学科教授, 准教授 または専任講師

1. 教授, 准教授または専任講師1名
2. (1) 法政大学理工学部創生科学科
(2) 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2
3. 天文・宇宙物理分野
4. 理工学部創生科学科および大学院理工学研究科システム理工学専攻 (創生科学系) の講義・実験・学位論文指導等
・教育・研究および学科運営に熱意がある方 (講義やゼミなどで学生の教育経験があることが望

ましい)。

- ・担当科目には理科教職 (地学実験など) が含まれます。
 - ・当学科では, 既設の30 cm反射 (ミード F8ACF)/13 cm屈折 (タカハシ TOA-130N) の二連望遠鏡からなる天文台の活用を計画しています。
 - ・当学科は研究分野が文理にまたがる約20名の教員で構成されており, 理系ジェネラリストの養成を学科の理念に掲げています。
 - ・当学科の天文・物理分野には春日隆教授 (電波天文学), 松尾由賀利教授 (レーザー分光学), 佐藤修一教授 (重力波物理学) が在籍しています。詳細は創生科学科HPをご参照ください。
<http://a-science.ws.hosei.ac.jp/>
5. (1) 2018年4月1日以降のできるだけ早い時期
(2) 任期なし
 6. (1) 着任時に博士の学位を有する方
(2) 上記分野において優れた研究業績を有する方
 7. (1) 本学所定の履歴書
(2) 本学所定の研究業績書
(3) 研究歴とこれまでの研究概要
(4) 着任後の研究計画
(5) 着任後の教育に対する抱負
(6) 本人について意見を述べることでの方
2名の氏名, 所属, 職および連絡先 (住所, 電話番号, メールアドレス)
(7) 主要論文 (3編以内) の別刷りまたはコピー
(8) 獲得した競争的資金があれば, そのリスト
詳細は公募HPをご参照ください。 http://www.hosei.ac.jp/saiyo/rikoh_bosyu.html
 8. 2017年9月30日 (土) 必着 (郵送に限る)
 9. (1) 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2
法政大学理工学部創生科学科 事務室
(2) 創生科学科 春日隆 教授
Tel: 042-387-6118 (事務室)
e-mail: kasuga_t@hosei.ac.jp
 10. 封筒表面に「教員 (天文・宇宙物理分野) 応募書類在中」と朱書きして, 簡易書留で郵送してください。応募書類は原則として返却しません。提出していただいた書類は選考にのみ使用し, 選考後は責任を持って破棄します。本学はダイバーシティ宣言に基づき男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
 11. 待遇等は本学学内規程の定めによります。

賞の推薦

2017年度「第38回猿橋賞」推薦依頼

1. 対象：推薦締切日に50歳未満で、創立の趣旨に沿って自然科学の分野で優れた研究業績を収めている女性科学者（ただし、日本に在住・在職で、かつ今後も国内で若手の育成に貢献できる人）
2. 表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、1件（1名）
3. 応募方法：

【推薦書類の作成】

推薦書は、当会のホームページ<http://www.saruhashi.net/>からダウンロードしたワードファイルに記入した後、PDF形式で保存してください。

【記入事項】

- (1) 推薦者（個人・団体、自薦も可）、受賞候補者の略歴
- (2) 推薦対象となる研究題目
- (3) 推薦理由（A4記入用紙1ページに収まること）
- (4) 主な業績リスト（指定は1頁。やむを得ない場合でも追加は1頁まで。）

【添付資料】

主な論文別刷5編以内。添付資料はPDFファイルで作成してください。

【送付先】

saruhashi2017@saruhashi.net

推薦書（PDFファイル）にはパスワードを付け、添付資料のPDFファイルと一緒に送付してください。推薦書のパスワードは別送付してください。

4. 締切は2017年11月30日（必着）
（当会の本宛先は推薦書受付専用です。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承ください。）
今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。
saruhashi2017@saruhashi.net

平成29年度（第49回）『東レ理科教育賞』募集

“東レ理科教育賞”は、中学・高校の理科教育の分野で優れた業績を上げた先生方を表彰するユニークな事業です。応募要領をご覧のうえ、どうぞ奮ってご応募ください。

1. 東レ理科教育賞の対象：中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案に基づいた教育事例（教育の現場で実績のあるもの）。
2. 応募資格：中学校・高等学校の理科教育を担当、指導、または研究する方。
3. 褒賞：(1) 東レ理科教育賞文部科学大臣賞（賞状、銀メダルおよび副賞賞金100万円：東レ理科教育賞の中で特に優れているもの）、(2) 東レ理科教育賞（賞状、銀メダルおよび副賞賞金70万円）、(3) 東レ理科教育賞佳作（賞状および副賞賞金20万円：東レ理科教育賞に次ぐもの）、(4) 東レ理科教育賞奨励作（賞状および副賞賞金20万円：東レ理科教育賞および佳作とは別に、理科教育上広く普及を奨励するもの）、を合わせて10件程度選定。
4. 応募手続：所定の応募用紙（申請書）に必要事項を記入し、当会あて1部郵送。応募要領参照（6月下旬に昨年度の受賞作品集とともに全国の中学校、高等学校、高等専門学校の学校長経由理科担当教諭宛などに送付。下記ウェブサイトにも掲載）。応募用紙は下記ウェブサイトからダウンロードするか、葉書またはFAXにてご請求ください。
5. 応募締切日：平成29年9月30日（土）必着。
6. お問い合わせ・お申込み先：公益財団法人東レ科学振興会

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16

Tel: 03-6262-1656 Fax: 03-6262-1901

URL: http://www.toray-sf.or.jp/information/science_edu.html

研究会・集会案内

京都大学 市民講座「物理と宇宙」第5回

事業名：市民講座「物理と宇宙」第5回

主催者：京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻、基礎物理学研究所

共催者：日本物理学会京都支部

後援：京都新聞社，京都市教育委員会，京都府教育委員会，滋賀県教育委員会

申請者：京都大学大学院理学研究科

市民講座委員会代表 池田隆介

主旨：京都大学で第一線で活躍している教員の方に，物理学・宇宙物理学の最先端の話題をわかりやすく解説していただく。

日時：2017/10/15(日) 13:00～17:15

場所：京都大学百周年時計台記念館大ホール
(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

内容：講演プログラム

1. 前野悦輝 (マエノヨシテル) (京都大学理学部物理学第一教室教授)「電子が凍る！」
2. 川畑貴裕 (カワバタタカヒロ) (京都大学理学部物理学第二教室准教授)「原子核と元素合成の秘密」
3. 佐々木貴教 (ササキタカノリ) (京都大学理学部宇宙物理学教室助教)「系外惑星“第二の地球”を探す」

講演会終了後，講師の方々と歓談できる講師を囲む会を開く予定です。(先着25名)

対象：中高生以上

定員：500名(申込多数の場合は先着順)

参加費：無料(講師を囲む会については実費として500円)

申込締切：2017年10月11日(水)

申込・問合せ：

- (1) ウェブサイトから
http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/news/public_lecture.html
- (2) 電子メールでshimin@scphys.kyoto-u.ac.jpあて
- (3) はがきで〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部物理学第一教室内市民講座係あて
(電話・FAXによる申込み受け付けは行っておりません)

連絡先：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部物理学第一教室内市民講座係
※講師を囲む会では出席者から実費として500円をいただきますが，営利ではありません。また後援がお金ということはありません。

国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

国立天文台野辺山では，日頃行われている天体観測の様子や，最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため，下記の要領で観測所施設の特別公開を行います。暑い季節ですが，涼しい野辺山高原でみなさまのご来場をお待ちしています。

1. 日時：2017年8月26日(土) 9:30～16:00
(入場は15:30まで)
2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所(長野県)
3. テーマ：『長野県は宇宙県～信州の星空は宇宙へのプロムナード～』
4. 展示・見学
通常の見学コースに加えて，45メートル電波望遠鏡の観測室などを見学できます。また，宇宙・太陽からやってくる電波を捉える観測装置の仕組みや最新の研究成果を実験や展示でわかりやすく解説します。スタンプラリーや工作などもあります。
5. 特別講演会
 - 1) 『身近に宇宙を感じる県，長野県』
講師：大西浩次(おおにし こうじ)
長野工業高等専門学校・教授 理学博士
時間：11:00～12:00
 - 2) 『電波で輝く天の川銀河―野辺山45 m電波望遠鏡による銀河面サーベイ』
講師：梅本智文(うめもと ともふみ)
国立天文台野辺山宇宙電波観測所・助教授 理学博士
時間：14:00～15:00
6. 交通
 - ・鉄道 JR小海線野辺山駅下車 徒歩40分(駅から無料シャトルバス運行)
 - ・自動車 東京・名古屋方面から：中央自動車道長坂インターから清里高原道路を経て約20 km。または，中央自動車道 須玉インターから国道141号線を白田・佐久方面へ約30 km。群馬方面から：上信越自動車道 佐久インターから国道141号線を白田・清里方面へ約50 km。
7. ご注意
 - ・入場無料・雨天決行。
 - ・室内を見学する場合に上履きが必要です。スリッパをご持参ください。また，脱いだ靴を入れる袋があるとたいへん便利です。こちらもご

持参をお勧めいたします。

- ・特別講演会は会場の関係で定員があります。整理券を当日発行します。
- ・自動車の方は、臨時駐車場（旧野辺山スキー場駐車場）をご利用ください。臨時駐車場から観測所まで無料シャトルバスを運行します。なお、天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。
- ・当日は、公開時間が普段と異なり、午前9時30分から午後4時（入場は午後3時30分まで）となりますのでご注意ください。

8. 後援：長野県、南牧村役場、南牧村商工会・商工会青年部

9. 問合せ先

国立天文台野辺山宇宙電波観測所

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2

Tel: 0267-98-4300（代表）

URL: <http://www.nro.nao.ac.jp/>

（詳細は随時ホームページでお知らせします）

「もしも君が杜の都で天文学者になったら （もし天）」参加高校生募集

「もしも君が杜の都で天文学者になったら（通称：もし天）」は、東北大学・宮城教育大学・仙台市天文台が共同で開催する高校生を対象とした合宿形式の天文学体験講座です。今年で7回目の開催となり、全国の科学や宇宙に興味のある高校生に広く認知されつつあります。

「もし天」では、全国から“宇宙好きの高校生”が集い、1週間の合宿の中で実際に天文学の研究を行います。普段の学校での授業とは異なり、班ごとに議論を進めながら自分たちで研究テーマを設定し、データを取得し、それを解析し結論を導き出すという、研究の過程を体験します。天体観測は、仙台市天文台が誇る1.3m「ひとみ望遠鏡」を参加者自ら操作しながら行います。そうして得られた研究成果は、最終日に市民の皆さまの前で発表し、また、希望者は日本天文学会ジュニアセッション（千葉大学で開催）で発表することができます。期間中は、各班に教員や学生がつきサポートしますので、天文学の知識がなくても宇宙に興味のある高校生ならどなたでも参加できます。

お近くに興味をもちそうな高校生がいらっしゃいましたら、ぜひともご紹介いただきますようお願いいたします。

〔イベント概要〕

もしも君が杜の都で天文学者になったら

（通称：もし天）

日時：2017年12月23日（土）～12月29日（金）

会場：東北大学・仙台市天文台

主催：東北大学理学研究科天文学専攻、東北大学学際科学フロンティア研究所

共催：仙台市天文台、宮城教育大学

後援：宮城県教育委員会

平成29年度ひらめき☆ときめきサイエンス採択事業

<https://www.astr.tohoku.ac.jp/MosiTen/>

〔参加申込方法〕

「もし天」ウェブサイト内の申込みフォームからお申込みください

募集人数：高校生12名（高専生の場合は3年生まで）

開催期間となる12/23～29（6泊7日）全日程参加できる人

応募締切：2017年10月13日（金）

参加費用：8,000円程度（期間中の宿泊費含む。期間中の食費・交通費は実費負担）

選考方法：800字程度の作文の提出が必要です。

応募者多数の場合はこの作文で審査します。

〔イベントスケジュール〕

初日（12/23・会場：仙台市天文台）

班ごとに研究テーマを決定

仙台市天文台「ひとみ望遠鏡」見学、操作説明

2-3日目（12/24-25・会場：東北大学、仙台市天文台）

班ごとに研究計画書作成

研究計画書審査会

審査会に通過した班から、天文観測

4-6日目（12/26-28・会場：東北大学）

得られたデータを解析し研究を進める

最終日に向け発表練習

最終日（12/29・会場：東北大学）

研究成果報告会（一般公開）

2018年3月（会場：千葉大学）※希望者のみ

日本天文学会ジュニアセッション開催

〔問合せ先〕

津村耕司 助教

東北大学学際科学フロンティア研究所／理学研究科天文学専攻

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学青葉山キャンパス理学合同C棟S502号室

Tel: 022-795-6608

Fax: 022-795-6513

e-mail: tsumura@astr.tohoku.ac.jp

会務案内

公益社団法人日本天文学会 2016 年度
(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)
事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上 (<http://www.asj.or.jp>) で公開しておりますが、書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

2016 年度事業の報告

活動内容はおおむね例年どおりでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、「シリーズ現代の天文学」第1巻第2版の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、助成金(早川基金: 23名に総額約583万円援助、学術交流費: 年会学生発表者47名に総額約121.4万円補助、内地留学奨学金: 1名に25万円の支給)、後援事業に関する事業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照してください。2017年3月31日現在の会員数は以下のとおりです。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合 計
2016年3月31日	1,966 (431)	1,110	39	41	3,156
入 会	233 (212)	61	0	2	296
退 会	△133 (106)	△73	△2	△1	△209
移籍(増)	9 (2)	16	—	—	25
移籍(減)	△16 (2)	△9	—	—	△25
正会員へ(学生減)	△(31)				
2017年3月31日	2,059 (506)	1,105	37	42	3,243

(注: 移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す)

2016 年度決算の報告

2016年度の経常収益は前年度より7,458,963円増、経常費用は同8,957,541円増、学会の正味財産は996,105円増えて142,278,498円となりました。受取会費は43,384,000円で860,000円増加しており、そのうち672,000円は正会員(学生)によるものです。

Oxford University Pressに委託して収支が改善していた欧文研究報告(PASJ)事業では、収益が増え経費を上回りました。助成事業は賛助会費および寄付によって運営されています。研究奨励賞と早川幸男基金に寄付をいただきました。ありがとうございました。事業別決算書内訳は以下のとおりです。

(文責庶務理事: 山下卓也, 会計理事: 柴田克典)

事業別決算書内訳表

2016年4月1日から2017年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

(単位: 円)

科目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小計
経常収益計	21,027,531	36,376,612	3,739,260	7,290,251	1,994,622	70,428,276
経常費用計	10,219,537	34,585,826	16,570,823	9,562,430	4,081,352	75,019,968
当期経常増減額	10,807,994	1,790,786	△12,831,563	△2,272,179	△2,086,730	△4,591,692

科目	公益目的事業						
	助成事業						公益目的事業計
	学術交流費事業	内地留学事業	研究奨励賞事業	早川基金事業	林賞事業	小計	
経常収益計	1,380,069	249,864	324,751	5,840,968	532,919	8,328,571	78,756,847
経常費用計	1,214,810	249,864	324,751	5,840,968	532,919	8,163,312	83,183,280
当期経常増減額	165,259	0	0	0	0	165,259	△4,426,433

科目	法人会計	内部取引消去	合計
経常収益計	21,185,813	0	99,942,660
経常費用計	13,388,293	0	96,571,573
当期経常増減額	7,797,520	0	3,371,087

入会・移籍・退会のお知らせ

2017年5月20日および6月3日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：43名 準会員：24名
 移籍 正会員へ移籍：2名 準会員へ移籍：11名
 退会 正会員：160名 準会員：50名 賛助会員：2名

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタン

を押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は youtsumi@hiroshima-u.ac.jpまで、

またその他のご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

※パスワードが変わりました！※

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）**vol110**（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕（委員長）、上野悟、岡部信広、奥村真一郎、押野翔一、滝脇知也、富田賢吾、中村航、萩原喜昭、松田有一、諸隈智貴、山田真也

平成29年7月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円（本体667円）

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）